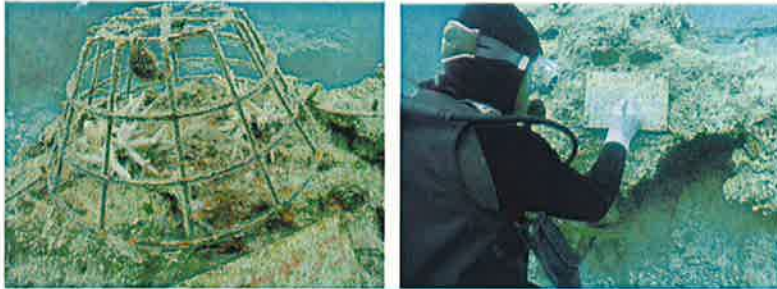


# 植え付けサンゴ観察報告(山田平成 20 年 2 月)

恩納村漁業協同組合

## 1. 観察方法と観察日

植え付けたサンゴは、岩ごとに番号プレートを設置して管理し、観察は、状況確認と写真撮影によりおこなっています。今年、平成 20 年 2 月 21 日行いました。



19 年 7 月の白化状況(トゲスギミドリイシ)      20 年 2 月の観察状況

## 2. 植え付けサンゴの状況

表 1. 20 年 2 月 21 日現在の生存群体系数

番号	種名\植え付け時期	16 年秋	17 年春	17 年秋	18 年春	19 年春	計
1	ハナヤサイサンゴ	1					1
2	エダコモンサンゴ	2	1				3
3	トゲスギミドリイシ		0	5	2		7
4	ヒメマツミドリイシ		1				1
5	ウスエダミドリイシ	11	7		11	8	37
6	ハナバチミドリイシ	3					3
7	Ac. Subulata	3			2		5
8	ムギノホミドリイシ		1	4	3		8
9	ハナガサミドリイシ	7					7
10	ヤッコミドリイシ	3					3
11	サボテンミドリイシ		4				4
12	チビアザミサンゴ	3					3
	計	33	14	9	18	8	82
	去年 4 月の個数	40	17	12	18	9	96
	1 年間の生存率	83%	82%	75%	100%	89%	85%

### ① 平成16年秋に植えたサンゴ

この年に植え付けたサンゴは8種類で、ミドリイシ類5種です。全部で33群体が生存しています。ウスエダミドリイシと Acropora subulata は、成長した枝がカゴから出ても食害にあっていませんが、その他のミドリイシとチビアザミは、カゴいっぱいになり、魚の届く範囲まで成長すると、魚に枝をかじられています。



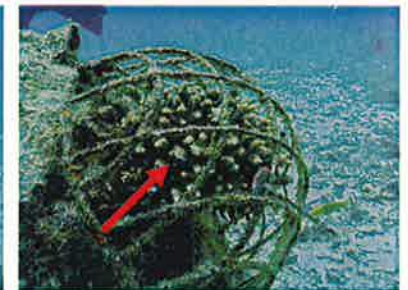
ウスエダミドリイシ(11 群体) 食害なし



ハナバチミドリイシ(3 群体) 食害あり



Acropora subulata(4 群体) 食害なし



ハナガサミドリイシ(7 群体) 食害あり



ヤッコミドリイシ(3 群体) 食害あり



チビアザミサンゴ(4 群体) 食害がひどい

② 平成 17 年春に植えたサンゴ

生存数は、5種類 14 群体で、順調に成長しています。



ウスエダミドリイシ(7 群体)



ヒメマツミドリイシ(1 体)



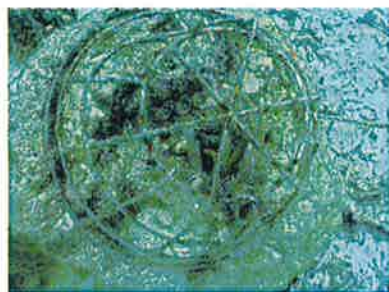
ムギノホミドリイシ(1 群体)



サボテンミドリイシ(4 群体)

③ 平成 17 年秋に植えたサンゴ(生存9群体)

17年秋植えは、18年夏の高水温により、ムギノホミドリイシ 26 群体が被害を受け、トゲスギミドリイシは、18年夏に 2 群体、19年夏に 3 群体が被害を受けました。



トゲスギミドリイシ(5 群体)



ムギノホミドリイシ(4 群体)

④ 平成 18 年春に植えたサンゴ

18年春植えは、この1年間の生存率が 100%でした。



トゲスギミドリイシ(18 年4月22日植え)



左の約 2 年後、(20 年2月21日撮影)



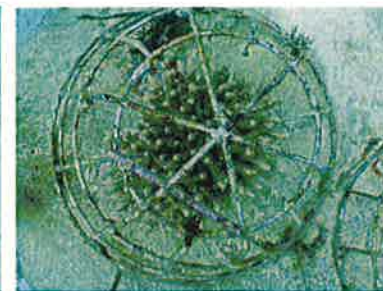
ウスエダミドリイシ(18年6月24日植え)



左の約 2 年後、(20 年2月21日撮影)



ムギノホミドリイシ(18年4月22日植え)



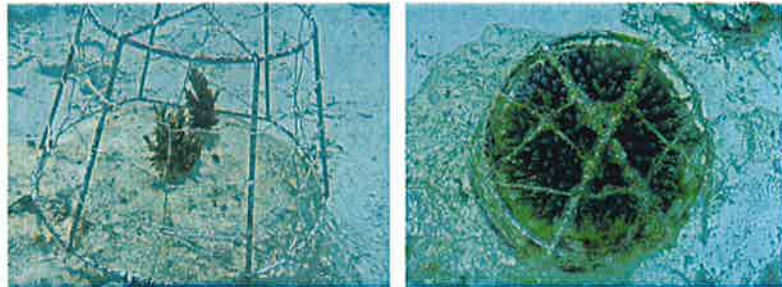
左の約 2 年後、(20 年2月21日撮影)

⑤ 18年夏、寄せ植え試験

18年7月にサンゴの寄せ植え試験を行いました。ミドリイシ類は、異種間であっても寄せ植えにした方がよい成果が現われています。



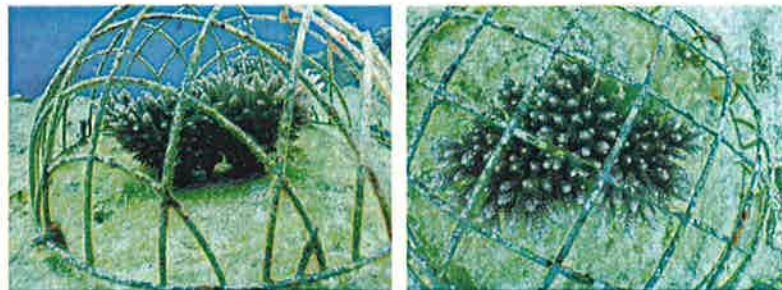
18年7月 寄せ植え試験(トゲスギミドリイシ) 同左の20年2月の状況



18年7月、ウスエダミドリイシとヒメマツミドリイシ 同左の20年2月の状況

⑤ 平成19年春に植えたサンゴ

19年2月は、ウスエダミドリイシを寄せ植えにしました。1年後には、3株寄せ植えしたもから融合した群体が見られました。



3本寄せ植えによる株の融合

同左を上から見た様子(20年2月21日)

3. サンゴ植え付けで分かったこと

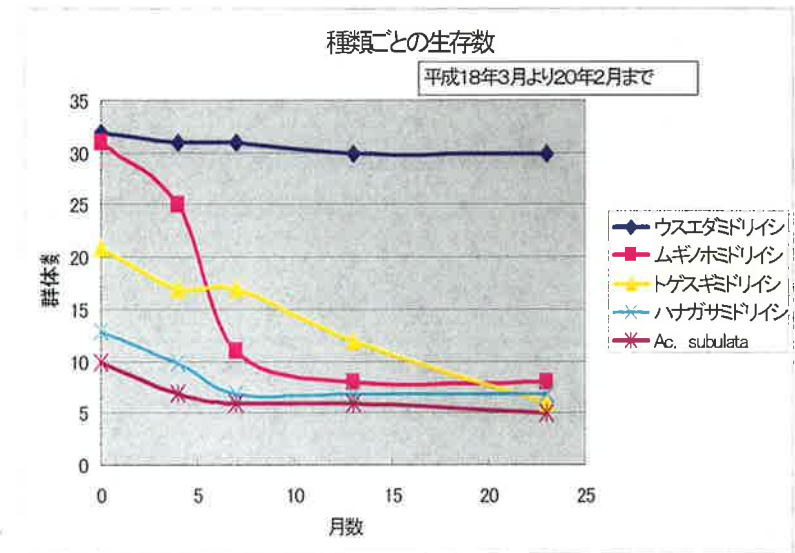
① 種類ごとの生存率(ウスエダミドリイシの生存率は高い)

平成18年3月から20年2月までの約2年間では、ウスエダミドリイシの生存率が極めて高いことが分かりました。一つの例として、16年秋植えのものが、一旦は上部が死滅しましたが、19年4月には根元部分にわずかに残っていたポリブが見られ、20年2月には、再成長を行っています。



16年秋植え(19年4月撮影)

20年2月に再成長した状況



## 植え付けサンゴ観察報告(万座平成 20 年 2 月)

恩納村漁業協同組合

### 1. はじめに

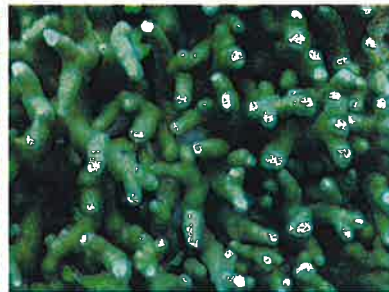
植え付けたサンゴは、高水温による白化現象とオニヒトデによる食害により大きなダメージを受けます。昨年は、8月と9月の2回にわたり、海水温が30度以上となり、植え付けサンゴもダメージを受けました。そこで、残ったサンゴを保護するため、オニヒトデ駆除に力をいれました。昨年は、4月から9月までの毎月と11月に駆除を行いました。今年は、第1回として、2月1日にオニヒトデ駆除を行いました。

### 2. オニヒトデの状況

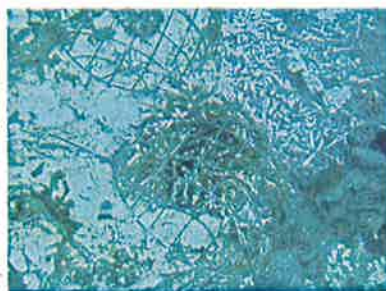
オニヒトデ駆除は、植え付けサンゴ周辺及び万座の湾内で広範囲に行いました。その結果、湾内で1匹を駆除しました。



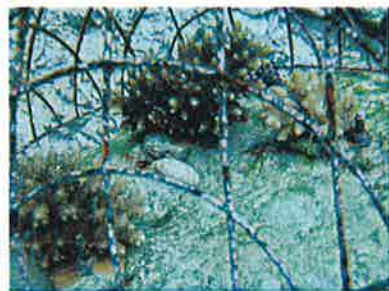
湾内で駆除したオニヒトデ



ユビエダハマサンゴに産み付けられた  
クブシミの卵



成長したタチハナガサミドリイン



去年植えつけたヤッコミドリイン